

平成 23 年（2011 年）のニセコの火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 2011 年の活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～3）

7 月 19 日に実施した上空からの観測（北海道開発局の協力による）ではイワオヌプリ（硫黄山）山頂部や五色温泉周辺に噴気は認められず、赤外熱映像装置¹⁾による観測でも、日射の影響を上回る地熱域は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

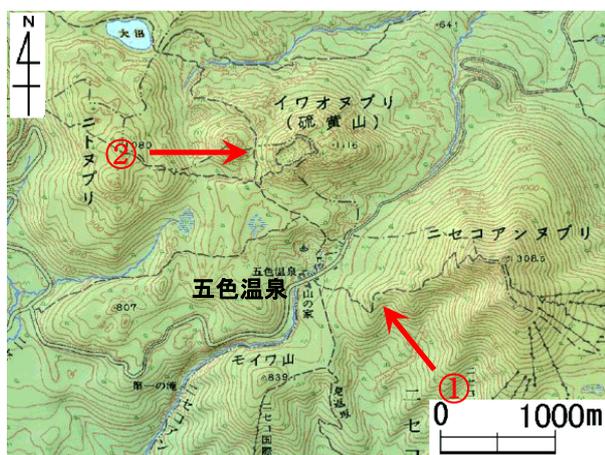


図 1 ニセコ 周辺図

図 2 ニセコ イワオヌプリ、五色温泉周辺の状況
南東側上空（図 1 ①の矢印方向）から撮影

この資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 23 情複、第 492 号）。

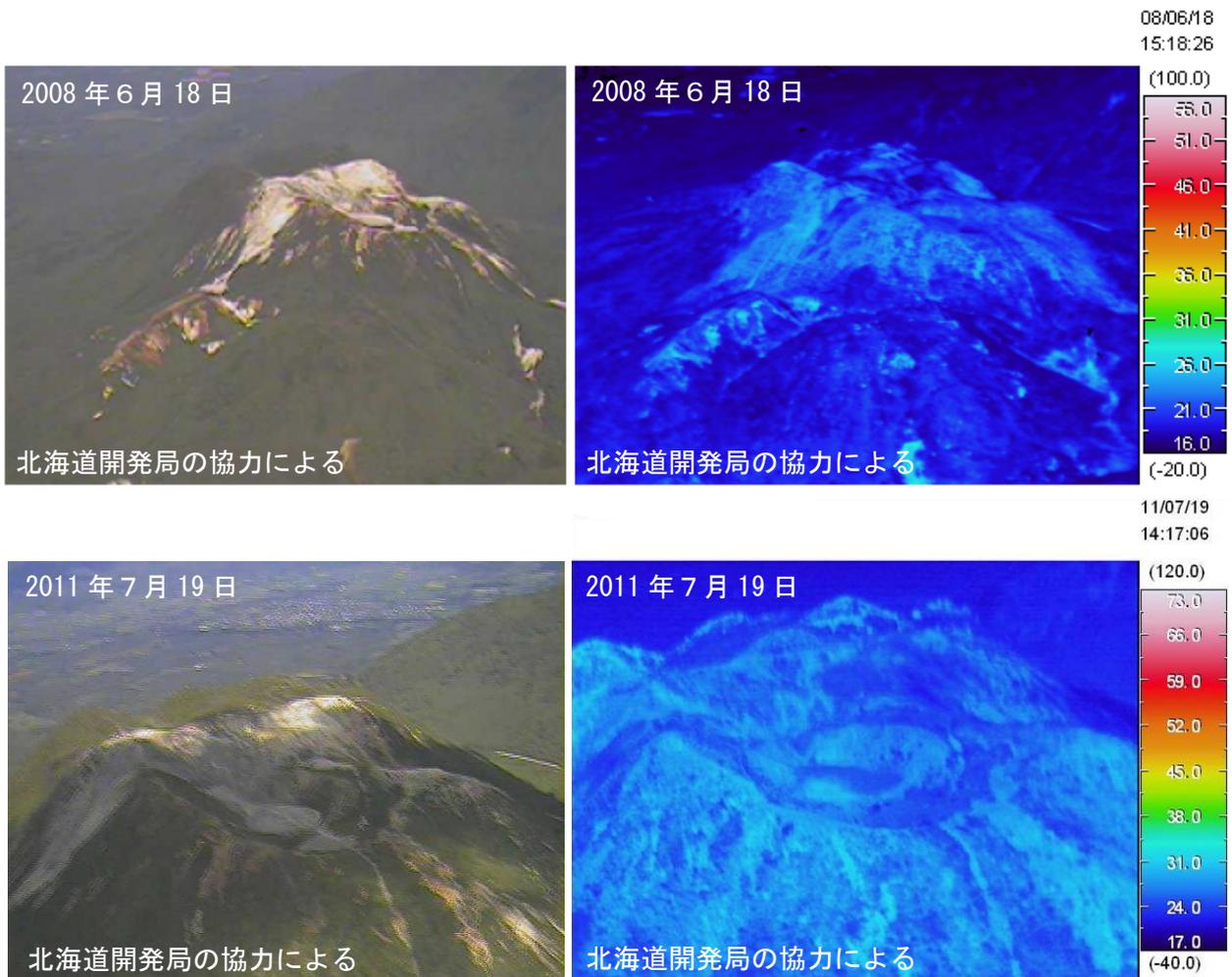


図 3 ニセコ 赤外熱映像装置¹⁾によるイワオヌブリ山頂の地表面温度分布
西側上空（図 1 ②の矢印方向）から撮影

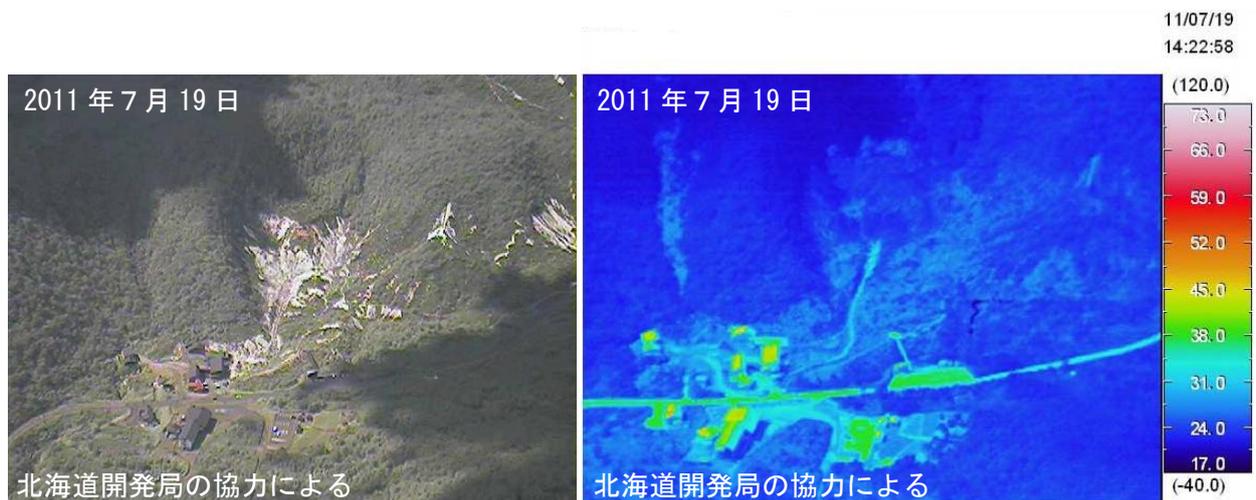


図 4 ニセコ 赤外熱映像装置¹⁾による五色温泉付近の地表面温度分布
南東側上空（図 1 ①の矢印方向）から撮影